

東日本大震災支援・防災

報道関係各位

2013年10月17日

CIVIC FORCE × オールラウンドヘリコプター 10/23 医療用多目的ヘリ運航開始式典 10/21・22 体験搭乗会を実施

国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行う民間団体「公益社団法人 Civic Force(シビック・フォース)(本部: 東京都千代田区、代表理事: 大西 健丞)」と、パートナー団体「特定非営利活動法人オールラウンドヘリコプター」(宮城県気仙沼、代表理事: 高橋雅之)は、10月23日、宮城県気仙沼で医療用多目的ヘリコプターの運航開始式典及び記者会見を開催します。

■日時:平成25年10月23日(水)13:00~14:00

記者会見は14:00~14:20頃を予定。

※14:30以降に医療機関との搬送訓練を予定

■場所:ARHヘリポート(気仙沼市赤岩牧沢40-1)

※気仙沼市より菅原市長もご同席いただく予定です。



また、ヘリコプターに実際に搭乗していただく体験搭乗の機会もご用意しております。短い時間ではありますが、乗り心地や機内スペースをご体験いただく良い機会ですので、ご希望の方はぜひお申し込みください。

■日時:平成25年10月21日(月)10:30~、22日(火)10:30~

■場所:宮城県合同庁舎跡地(気仙沼市朝日町1-1)

■参加費:無料

■備考:予約制ですので、事前にご連絡ください。なお、1フライト5分ずつの飛行となります。荒天の場合には中止となることもございますので、予めご了承ください。



宮城県気仙沼における医療用多目的搬送ヘリ事業とは？

宮城県気仙沼における医療用多目的搬送ヘリ事業は、2012年夏から開始した Civic Force 中長期復興支援「命をつなぐ翼プロジェクト ～ヘリを活用した緊急医療搬送支援」の一環として、「特定非営利活動法人オールラウンドヘリコプター（ARH）（宮城県気仙沼、代表理事：高橋雅之）」との協働事業で実施しています。同プロジェクトでは、都市部の高度医療機関へのアクセスが悪く、東日本大震災後、さらに医療過疎が進む宮城県気仙沼市を中心とした三陸沿岸及びその近隣地域において、現行の医療搬送手段を補完する形で医療用多目的ヘリコプターを運航します。

約1年にわたって、関係機関との調整や機体配備、近隣住民の方々への説明会の開催など多岐にわたる準備を進め、10月7日から気仙沼市赤岩にあるベースヘリポートに機体の操縦士および整備士を常駐させ、医療機関からの要請に応える「試験運航」を開始。そして、2週間の試験期間を経て、10月23日、ついに本格運航を開始します。

全国でも非常に珍しい民間主導医療用ヘリコプター事業の新しい挑戦にご関心をお寄せいただき、今後の取り組みにご注目ください。

公益社団法人 Civic Force

国内の大規模災害において、企業や行政、NGOと連携し、かつてないスピードで質の高い支援を提供する民間団体。東日本大震災では、平時からの準備により、大震災発生翌日からヘリで被災地に入り、大規模な支援物資の調達・配送やお風呂の設営事業、離島への大型カーフェリーの就航のほか、NGOと連携して多岐にわたる事業を展開。2012年夏からは「中長期復興支援事業」(<http://www.civic-force.org/emergency/higashinohon/choki/>)を実施中。これらの活動に対して、2013年10月現在、個人・法人から約18億円のご寄付をいただいています。

特定非営利活動法人オールラウンドヘリコプター（ARH）

日本では特別な移動手段としてのイメージが強いヘリコプターを、社会のさまざまな場面で有効活用することで、より良い社会づくりに貢献することを目的として2012年7月に設立。現在、都市部の高度医療機関へのアクセスが悪く、東日本大震災後、さらに医療過疎が進む宮城県気仙沼市を中心とした三陸沿岸およびその近隣地域において、現行の医療搬送手段を補完する形での医療用多目的ヘリコプターの運航を行うための準備を進めています。メンバーは、ヘリの操縦士や整備士、救急救命士のほか、被災地出身者などで構成されています。

■本件に関するお問い合わせ先（9:00～17:00）

特定非営利活動法人 All Round Helicopter 担当：熊谷、川北

TEL：0226-25-9744 FAX：0226-25-9754 Email：info@arh.org

URL：<http://www.arh.or.jp>

※医療機関への直接のご連絡はご遠慮ください